

令和5年度事業報告書

1. 業績の概況

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類に引き下げられたことに伴い、社会全体に以前の活気が戻ってきたと感じることができた1年でした。観光地は人で賑わい、スポーツイベント、音楽イベントなどが通常どおりに各地で行われました。当センターも定時総会を4年ぶりに通常開催をして、多くの会員、それから関係者に参加をいただきました。

こうした中、令和5年度の事業実績においては、会員数851人、請負・委任と派遣を合わせた契約金額は、4億3,500万円で前年度比103.5%、就業率88.6%となり、概ね第4次中長期計画の令和5年度目標を達成することができました。特に派遣契約の実績は目標値を大きく上回りました。新規受注に加え、適正就業に沿った事業を推進してきた結果の表れであり、シルバー人材センターの就業形態が仕事の成果を求める「請負」から労働力を求める「派遣」へと移行してきたものと思われまます。

近頃、人生100年時代という言葉をよく耳にすることが多くなりました。令和3年4月に施行された改正高年齢者雇用安定法により企業への努力義務として70歳までの高年齢者就業確保措置が導入されました。この中には、継続雇用や雇用によらない就業・社会参加によるものも含まれています。健康寿命が延び生涯現役を目指す高年齢者の働き方は生きがいくくりや社会貢献など捉え方は人それぞれですが、人生100年時代を迎える中で、シルバー人材センターの特色である基本的な就業形態の臨時的・短期的・軽易な作業はこのような多様化する社会的要請にも十分応えられるものであり、シルバー人材センターの果たす役割はますます重要になるものと考えられます。

以下、令和5年度の事業実績を報告いたします。

(1) 当期の主な事業実績

① 会員数	(正会員)	851人	
			*前年度 835名、前年対比 101.9% 【中長期計画目標指数910人 (達成率93.5%)】
② 契約金額	(請負・委任)	349,496千円	
			*前年度 361,860千円、前年対比 96.6% 【中長期計画目標指数360,000千円 (達成率97.1%)】
	(派遣)	86,070千円	
			*前年度 58,784千円、前年対比 146.4% 【中長期計画目標指数60,000千円 (達成率143.5%)】
	(請負・委任、派遣合計)	435,566千円	
			*前年度 420,644千円、前年対比 103.5% 【中長期計画目標指数420,000千円 (達成率103.7%)】
③ 契約割合	(請負・委任、派遣合計)	公共事業 23.4%、民間事業 76.6%	
			*前年度 公共事業 21.2%、民間事業 78.8%
④ 受注件数	(請負・委任、派遣合計)	6,909件	
			*前年度 6,568件

- ⑤ 配分金額 (請負・委任、派遣合計) 349,499千円
 就業会員1人当たりの月平均金額38,627円
 ＊前年度 343,574千円、前年対比 101.7%
 ＊前年度就業会員1人当たりの月平均金額 38,901円
- ⑥ 就業率 (請負・委任、派遣合計) 88.6%
 ＊前年度 88.1%
 【中長期計画目標指数90.0%】
- ⑦ 就業実人員 (請負・委任、派遣合計) 754人
 ＊前年度 736人

(2) 会員数拡大に向けた取り組み

- ① 会員1人1入会運動の実施
 報奨金制度を導入した「会員1人1入会運動」により新規入会者を取り込みました。
 ・会員1人1入会運動による新規入会者数：13人
- ② 会員募集チラシの公共施設への掲示
 太田市内の公共施設に会員募集チラシを掲示しました。
 ・行政センター等24施設
- ③ 行政センターだよりへの記事掲載
 行政センターが発行する「行政センターだより」に会員募集記事等を掲載しました。
 ・太田市内14行政センター
- ④ 新聞折込の実施
 上毛新聞ほか主要新聞の朝刊へ「カレンダー付会員募集チラシ」の新聞折込を実施しました。
 ・実施日：令和6年1月14日
 ・配達地域と部数：太田市全域 20,000部

(3) 就業機会拡大に向けた取り組み

- ① スマートフォンや携帯電話を利用したSMS（ショートメッセージサービス）を活用し、タイムリーな求人情報を会員へ提供しました。
- ② 就業開拓推進員による積極的な訪問営業活動を実施し、新規受注の獲得に努めました。年間訪問実績のべ316回。

(4) 安全就業と適正就業に向けた取り組み

- ① 安全・適正就業委員による巡回指導等
 作業現場の「安全パトロール（巡回指導）」と、事故検証・防止策について協議する「安全委員会」を実施しました。
 ・安全パトロール：12回
 ・安全委員会：12回
- ② 「安全就業だより」の発行と「安全標語」の募集
 「安全就業だより」を発行することで会員へ安全対策の取り組みや事故状況を提供し、さらに安全標語を募集して優秀作品を表彰する安全標語コンクールを実施することで安全就業意識を高めました。
 ・安全就業だより：年4回発行（7月、9月、1月、3月）

- ・安全標語最優秀賞：竹内千枝子会員
「なれた作業も 油断は禁物」

※安全標語応募数：30作品

新規入会者には「安全就業ハンドブック」で安全に対する意識付けを行いました。

- ・安全就業ハンドブック：新入会員141人（冊）へ配付

③ 適正就業ガイドラインに沿った業務運営

厚生労働省と全国シルバー人材センター事業協会がまとめた「適正就業ガイドライン」を会員と発注者へ配付し、適正な受注と就業を周知徹底しました。

(5) 普及啓発・社会参加活動の取り組み

① 会報なかまの発行

会報編集委員会の委員が中心となって「会報なかま」を編集・発行し、市内公共施設24箇所へ設置依頼し、センターの活動内容を周知しました。

- ・会報なかま：年4回発行（7月、9月、1月、3月）

② シルバーだよりの発行

広報おおた特集記事「シルバーだより」を制作し、センターの普及啓発及び令和6年度の植木・除草作業の予約受付開始のお知らせをしました。

- ・シルバーだより：発行日 令和6年2月1日 73,000部

③ 広報おおたの活用

令和4年度の説明会参加者を対象にしたアンケート結果から「広報おおた」の利活用が最も有効であったことから、センターの情報提供を行い、市民への普及啓発を図りました。

- ・掲載：3月1日号（シルバー人材センター料金改定のお知らせ）

④ ホームページの公開

インターネットによる情報発信は広報活動の主流であることから、センターホームページの内容を積極的に更新しました。

- ・年間アクセス数：36,593件

⑤ ツイッターの公開

広報部会を中心にホームページを補完する情報発信手段を検討し、国内で最も利用されているSNSである「X（旧ツイッター）」によるセンター公式アカウントを開設し、センターにおけるタイムリーな事業活動を公開しました。

⑥ 社会貢献活動の実施

普及啓発促進月間の活動で「シルバーの日（10月第3土曜日）」の清掃ボランティアを実施し、宣伝用ポケットティッシュを配布しました。

- 実施日：10月21日（土） 太田駅南口周辺 参加者 72人
新田庁舎周辺 参加者 41人

⑦ チラシ、ポケットティッシュ等の配布

エアリスで開催された老人福祉文化祭にてチラシ、ポケットティッシュ等の配布を行いセンターの普及啓発活動を実施しました。

⑧ 太田市高齢者支援サービス事業「ちよいとサポート事業」の受託

社会参加活動として、高齢者世帯の生活の充実と日常のちょっとした困りごとを解決する「ちよいとサポート事業（ちよいサポ）」を太田市から受託しました。

- ・受託件数：2,591件（目標数2,160件）
・ちよいサポ隊会員数：92人

⑨ 太田市ごみ出し困難高齢者支援事業の受託

ごみ出しをすることが困難なひとり暮らし高齢者に対し、安否確認を行いながら、ごみを戸別回収する事業を太田市から受託しました。

- ・受託件数：1, 496件
- ・就業会員：40人

(6) 会員の技能及び資質の向上に向けた取り組み

① 講習会の実施

元気な高齢者の社会参加及び生活支援の担い手としての活躍を支援するため講習会を実施しました。

- ・リラクゼーション講座

実施日：令和5年8月23日 会場：宝泉行政センター 参加者数：17人

② 刈払機講習会の実施

除草作業で就業をしている会員を対象にハサミ式刈払機（カルマー）の正しい使い方とメンテナンスを目的とした講習会を実施しました。

- ・刈払機（カルマー）講習会

講師：業者委託

実施日：令和6年3月11日 会場：北部運動公園 参加者数：56人

(7) 組織運営体制の強化に向けた取り組み

① 専門部会（総務部会、事業部会、広報部会）の活動

専門部会は、役員で構成された3部会各々が委員会を開催してセンターの運営について協議するものですが、本年度は広報部会によるチラシとポケットティッシュの配布のみの活動になりました。

② 厚生会との連携

連携強化のため職員が厚生会主催各種イベントに参加して交流を深めました。